



あいさつ

公益財団法人長野県スポーツ協会

会 長 阿 部 守 一

(長野県知事)

このたび、公益財団法人長野県スポーツ協会が創立75周年を迎えるにあたり、これまでの本会の歩みをまとめ記念誌として発刊することといたしました。本会としては前身の長野県体育協会創立40周年にあわせて制作した「長野県体育協会史」以来の編纂となりますが、本会の歴史や国民体育大会をはじめとする数々の輝かしい偉業を記録にとどめることは、これらを長く後世に伝えるとともに、更なる本会の発展と本県スポーツの振興に資する意義深い取組であります。

さて、本会は1946年（昭和21年）の創立以来、県民の体力向上並びにスポーツの普及発展に努めてまいりました。現在、本会の加盟団体は90を数えるに至り、それぞれの立場で本県スポーツの振興にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本県では、1978年（昭和53年）に「やまびこ国体」「やまびこ大会」が、1998年（平成10年）には「長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会」が開催され、本県におけるスポーツへの関心・理解を飛躍的に高める契機となりました。

両大会から50年後、30年後の節目となる2028年（令和10年）には、「信州やまなみ国スポ・全障スポ」（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会）の開催が内定しています。愛称の「信州やまなみ国スポ・全障スポ」、スローガンの「行こう。それぞれの頂（いただき）へ。」には、大会に関わる全ての人が信州の山々のようにつらなり、手を取り合いながら、自分の想い描くゴールを目指し、未来へとつながる大会にしたいとの思いが込められています。今後、関係団体の皆様と連携・協力し、天皇杯・皇后杯獲得という目標実現に向けた選手強化に取り組むとともに、大会を契機としてスポーツ振興への気運がより一層高まるよう取り組んでまいります。

現在、本県ではより多くの県民の皆様が気軽にスポーツに親しめる環境整備を進めるとともに、障がいの有無にかかわらずスポーツを通じて交流できる場の確保など、県民の皆様の関心や適性に応じて「する」「みる」「ささえる」など様々な形でスポーツに参加できる文化の創造を目指しています。皆様には、引き続き、本県の目指す「スポーツによる元気な長野県づくり」にご協力いただきますようお願いいたします。

結びに、本誌の編纂にあたりご協力いただきました関係各位に、深い感謝の意を表しますとともに、先人の足跡を後世に伝えるために集約した本誌が、本県スポーツの振興と普及の一助となりますことを祈念し、あいさつといたします。



祝 辞

長野県議会議長 宮本 衡 司

公益財団法人長野県スポーツ協会が記念すべき創立75周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和21年の創立以来、本県スポーツの振興や競技力の向上等を通じて、県民の活力と健康づくりの増進に多大な御貢献をいただいております。幾多の困難を乗り越え、ここに75年の節目を迎えられましたことは、誠に喜ばしい限りであり、今日までの確固たる礎を築いて来られた歴代会長をはじめ、関係各位の皆様方のこれまでの御尽力に対し、深甚なる敬意と感謝を表する次第でございます。

さて、令和3年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックや2022北京オリンピック・パラリンピックが相次いで開催され、本県ゆかりの選手たちの活躍は県民に勇気と感動を与えてくれました。そして現在も本県ゆかりの競技者は各分野で活躍され、また令和10年には、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の長野県開催が予定されるなど、今後も本県スポーツを取り巻く環境は、益々盛り上がっていくことが期待されます。

一方で、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大は、「3密の回避」や「新しい生活様式」の導入など、私たちを取り巻く生活環境を一変させるとともに、様々な活動の自粛が余儀なくされるなど、深刻な影響を及ぼしております。

御承知のとおり、スポーツは、心身の健康の保持増進や体力向上はもとより、豊かな人間性を育む上で大きな役割を果たしております。また、本県出身選手の活躍する姿は、地域の一体感や活力の醸成、明るい未来の創造・発展にもつながっております。

コロナ禍のこのような時期であるからこそ、どうか皆様におかれましては、スポーツの素晴らしさを広げるとともに、これまで培ってこられた豊富な知識と経験を生かしながら、本県スポーツの一層の振興のため、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

県議会といたしましても、県民の皆様が健康で明るく活力に満ちた生活を送れるよう、引き続きスポーツの振興に取り組んで参る所存でございますので、御支援・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、長野県スポーツ協会の今後益々の御発展、並びに御関係の皆様方の御健勝・御活躍を心より祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

長野県教育委員会

教育長 原 山 隆 一

このたび、公益財団法人長野県スポーツ協会が、創立75周年の記念誌を刊行される運びとなりましたことに、心からお喜び申し上げます。

貴協会は、1946年（昭和21年）の創立以来、75年の長きにわたり、本県スポーツの普及・振興の先頭に立ってご尽力いただいております。ここに改めて深い敬意と感謝の意を申し上げます。

2020年（令和2年）から世界的な猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、多くの人々の暮らしに様々な影響を与えました。スポーツ界も例外ではなく、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が1年延期となったほか、国民体育大会は、2年連続で開催できない事態となっています。一日も早い収束と、誰もが安心してスポーツを楽しむことができる日常が戻ってくることを強く願っております。

さて、本県では、1978年（昭和53年）のやまびこ国体・やまびこ大会及び1998年（平成10年）の長野冬季オリンピック・パラリンピックでの有形無形の財産を活かし、次世代への継承を推進しながら、2028年（令和10年）には、2巡目となる国民スポーツ大会を迎えようとしています。

この間、スポーツを取り巻く情勢も変化を続け、スポーツの果たす役割や意義が重要性を増してきています。県民が各々の関心や適性等に応じて「する」「みる」「ささえる」など様々な形でスポーツに参加し、ライフスタイルに応じたスポーツ活動は、生活に潤いを与え、県民の健康づくりを促進しています。

こうした中、長野冬季オリンピックを契機に開始した、長野県冬季アスリート発掘・育成事業（SWANプロジェクト）の修了生の中から、2022年北京冬季オリンピックに初めて3名の選手が出場を果たしました。3選手の努力を讃えるとともに、SWANプロジェクト初のオリンピック誕生を契機に、目標であるメダリストの育成を目指し、更に取り組みを進めてまいります。

「信州やまなみ国スポ・全障スポ」（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会）においては、貴協会加盟の競技団体をはじめ関係団体の皆様と緊密に連携しながら、計画的な選手強化策を着実に推進してまいります。そして、この両大会を契機に、目標である天皇杯・皇后杯の獲得と大会終了後も持続可能な本県の競技スポーツの振興を目指し、本県にスポーツ文化がしっかりと定着するように繋げたいと考えております。

結びに、公益財団法人長野県スポーツ協会におかれましては、本県が目指す「スポーツによる元気な長野県づくり」に、今後ともご支援とご協力を賜りますとともに、貴協会の益々のご発展を祈念いたしまして、創立75周年のお祝いのことばといたします。



発刊のあいさつ

公益財団法人長野県スポーツ協会

理事長 林 泰 章

公益財団法人長野県スポーツ協会が創立75周年を迎え、『長野県スポーツ協会創立75周年記念誌』を発刊できますことは、誠に喜ばしい限りであります。

本会は、昭和21年9月に創立以来、県民の体力の向上とスポーツの振興に寄与することを目的として、加盟する競技団体、郡市体育・スポーツ協会と協力して、国民体育大会参加支援、生涯スポーツの普及などの事業等を通じ、県内スポーツの向上・推進に取り組んでまいりました。

この間、本会は、長野県をはじめ、加盟団体、市町村、経済団体等関係団体の皆様からご支援、ご協力を賜り、今日まで発展するに至ることができました。深く感謝を申し上げます。

平成18年度には、賛助会員制度を導入いたしまして、これまで多くの法人・団体、個人の皆様から本会のスポーツ推進事業にご支援をいただいております。ご寄附いただいた皆様に、改めて御礼申し上げます。

本会は、国の公益法人制度改革に伴い、平成24年4月には、公益財団法人に移行し、県民の体力向上とスポーツ振興に関する公益目的事業を行う公益法人として、新たなスタートを切りました。

また、「スポーツ」ということばが、社会に広く浸透してきたことから、平成30年4月に、本会の名称を「公益財団法人長野県体育協会」から「公益財団法人長野県スポーツ協会」に変更し、本会は、名実ともにスポーツ振興事業を行う公益財団法人となりました。

本会は、令和2年度から導入したスポーツ団体ガバナンスコードの取組の一環とし、今年度、令和4年度から5年間を計画期間とする中長期計画を策定し、目指すべき基本方針、「10年後の目指す姿」、「今後5年間に取り組むべき施策」を定めました。

この中長期計画では、令和10年に本県で開催される第82回国民スポーツ大会において、天皇杯、皇后杯を獲得するために、長野県と連携して、国民スポーツ大会参加支援、競技力向上事業に取り組むこととしております。

本会としましては、これまでの75年の礎に、本県スポーツの総括団体として、スポーツの社会的役割の重要性を認識し、加盟団体の皆様と協力して、本県のスポーツ振興に取り組んでまいりたいと存じます。関係の皆様の一層のご理解、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、永年にわたり本会及び本県スポーツの発展に多大のご理解、ご支援をいただいた多くの方々をはじめ、本誌編纂にあたり、ご協力をいただきました加盟団体の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、本誌が本県スポーツ振興に資することを祈念申し上げ、発刊のごあいさつとさせていただきます。

東京五輪出場長野県選手からのメッセージ

長野県スポーツ協会では、2020東京オリンピックに出場する長野県出身選手の皆様に激励金を贈呈いたしました。本会創立75周年記念誌に寄せて、長野県出身の出場選手の皆さんからメッセージをいただきました。



萩谷 楓（はぎたに かえで） (株)エディオン ◆陸上 女子5000m

長野県スポーツ協会創立75周年、おめでとうございます。長年にわたる県内スポーツ発展へのご尽力に心から感謝申し上げます。

今年は、東京2020オリンピックに出場させていただき、私自身学びの多い1年でした。初めての国際大会ということで、不安、緊張もありましたが、地元の方々の応援の力で自己ベストを更新することができました。

2028年には、長野県で国民スポーツ大会が開催されるので地元で恩返しができるよう、頑張ります。



デーデー・ブルーノ 東海大学 ◆陸上 男子4×100mリレー

創立75周年おめでとうございます。今回はリザーバーでしたが、現地でしか体験できないことや海外選手の実態に接し、自分に不足している点や今後の指標を明確にできました。何より、出場できた場合の結果を現実的に想像できる様になりました。2022年は世界陸上やアジア選手権出場、リレーでも未到の金メダルを目標にし、そして最大目標である3年後のパリ五輪では100m決勝進出、記録は9秒7～8を達成できるよう精一杯努力する所存です。



佐藤 英賢（さとう えいけん） ポールショッケマーレ厩舎 ◆馬術 障害馬術

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。

僕が初めて国体の少年の部で優勝して、県に報告に行った時、知事さん（田中康夫さん）、そして当時の体育協会の皆さん方に祝福していただいたことをよく覚えています。

個人戦は、決勝まで進むことはできましたが、決勝の走行がよくなかったことは課題だと思っています。団体戦はチームのメンバーの馬が故障してしまい、結局棄権することになりましたが、団体戦だからこそこういうことも起こりうるということで前向きに考えています。

今回は、チームのモチベーションを上げることや、監督、コーチとのコミュニケーションをしっかりとるという意味では役に立てたのかなと思います。確かに結果は残念でしたが、今後につながる内容だったと思います。メンタルの強化やフィジカルについてもしっかりとトレーニングをして選手として活動を続けていきます。2028年には「長野国スポ」が開催されますが、これまでの僕の経験を是非お役に立てたいと思っています。



西藤 俊哉（さいとう としや） セプテーニホールディングス(株)

◆フェンシング 男子フルーレ（個人・団体）

県スポーツ協会創立75周年本当におめでとうございます。今回東京オリンピックの代表として初めて出場できたことは本当に嬉しかったです。結果はとても悔しいものとなりましたが、オリンピックという舞台に立たなければ感じるこのできない経験だったと思います。

今回の悔しさを、次に繋げて、今回の悔しさがあって良かったと思えるような未来に変えて行きたいです。3年後のパリオリンピックで金メダルを獲得できる様日々精進していきます。



奥原 希望（おくはら のぞみ） 太陽ホールディングス(株)

◆バドミントン 女子シングルス

長野県スポーツ協会創立75周年、誠におめでとうございます。今までのご功績に敬意を表すとともに、心からお喜びを申し上げます。

今年は東京2020オリンピックがあり、改めてスポーツの素晴らしさを感じることが出来たきっかけになったのではないのでしょうか。私は結果として皆様に報告することはできませんでしたが、前回よりも自信を持ってコートに立ちプレーすることができました。

沢山のの人に支えられながら、そのエネルギーを今後もパフォーマンスとして皆様にお届けできるように、パリに向けて精進していきたいと思っています。



矢澤 亜季（やざわ あき） 昭和飛行機都市開発(株)

◆カヌー スラローム 女子カヤック

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。

小さい頃から長野県の皆さんに応援して頂きありがとうございます。また、2020年東京オリンピックの際も沢山のの方々から声援を頂きとっても嬉しかったです。

東京オリンピックでは思うような結果が残せず悔しいですが、次の目標に向けて頑張っております。

これからも長野県の皆さんに応援して頂き良い結果報告が出来る様に頑張りますので、今後も応援よろしくお願い致します。

北京冬季五輪出場長野県選手からのメッセージ

長野県スポーツ協会から北京オリンピックに出場する長野県選手の皆様に激励金を贈呈いたしました。本会創立75周年記念誌に寄せて、長野県関係の出場選手の皆さんからメッセージをいただきました。



小平 奈緒（こだいら なお） 社会医療法人財団慈泉会相澤病院

◆スピードスケート

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。

北京オリンピックでは、成し遂げることはできずとも、自分なりにやり遂げることはできたと思っています。

この4年間、どこまで行けるんだろうと信じてくださった方々や、立ち止まりそうになるたびに温かい言葉をかけてくださった皆さんに何度も救われてきました。

この舞台のスタートラインに着くことができるように支えてくださった皆さん、ゴールまで一緒に歩みを進めてくださった皆さん、ありがとうございます。

この経験を成長に変えられるよう、次へ進みたいと思います。



高木 菜那（たかぎ なな） 日本電産サンキョー(株)

◆スピードスケート

75周年を迎えられた長野県スポーツ協会関係者の皆様、誠におめでとうございます。

北京オリンピックでは連覇を狙ったチームパシュート、マススタートで転倒してしまいすごく辛かったのですが、たくさんの方から応援、励ましのメッセージを頂きました。

その皆さんの声私を支えてくれました。悔しい銀メダルになってしまいましたがチームメイトや支えてくださった方の大切さをすごく感じられる五輪になりました。

皆様に心から感謝したいと思います。本当にありがとうございました。



小島 良太（こじま りょうた） (株)エムウェーブ

◆スピードスケート

この度は、長野県スポーツ協会創立75周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

この冬に開催されました北京五輪、これまでの挑戦を支援、応援していただき誠にありがとうございました。本番では、自分の思うようなパフォーマンスができず、悔しい想いをしましたが、世界のトップ選手のスケート技術や、競技力の高さを改めて痛感し、一段の自己研鑽を積む覚悟を持ちました。4年後に向け精進しますので、今後とも応援よろしく願い致します。



菊池 悠希 (きくち ゆうき) 全日本空輸(株) ◆ショートトラック

北京でのメダル獲得を目指して努力したこの4年間、確かに積み上げてきた自信がゼロになり、絶望感を味わいました。それでも、遠くから私の挑戦を見守ってくださる方々、私以上に私を信じて直前までサポートしてくれたみなさんのおかげで、「ここで私が折れるわけにいかない」と、最後まで奮闘することができました。人々に活力を与え、自身を成長させてくれたスポーツの力に感謝します。益々の長野県スポーツ協会の更なるご発展をお祈り申し上げます。



菊池 純礼 (きくち すみれ) 富士急行(株) ◆ショートトラック

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。
2022北京オリンピックではスポーツ協会をはじめとする多くの長野県の皆様のご支援、ご声援いただき本当にありがとうございました。
500mでは日本記録樹立、また1500mでは8位入賞を果たしました。リレー種目でのメダル獲得は叶いませんでしたが自身の力を発揮することができました。
今後もスケートの魅力やスポーツの力を皆さんに届けられるよう精進してまいります。



神長 汐音 (かみなが しおね) 全日空商事(株) ◆ショートトラック

この度は、北京オリンピックの応援ありがとうございました。私はメダルを獲得することは出来ませんでした。しかしながら、オリンピックを通して他競技から勇気と感動をもらい、スポーツの力を改めて実感しました。県スポーツ協会創立75周年ということでこれからも微力ながら長野県のスポーツを盛り上げるため尽力したいと思います。
4年後のミラノ大会では必ずメダルを獲得し、さらなるスポーツの発展に貢献できたらと思います。



菊池 耕太 (きくち こうた) 社会医療法人恵仁会 ◆ショートトラック

この度は、創立75周年おめでとうございます。
私が今日まで長野県でスポーツを続けてこられたのもスポーツ協会あつての事だと思います。
北京オリンピックでは個人、リレー共に成績が出せず世界の厳しさを見せつけられました。
今後も競技を続け4年後のミラノ・コルティナ五輪に向けて練習に励みます。



小池 克典 (こいけ かつのり) 全日空商事(株) ◆ショートトラック

創立75周年おめでとうございます。これからもスポーツの競技力向上やスポーツ振興事業、スポーツ振興功労者表彰等、長野県スポーツ発展のためにお力添えいただきますようお願いいたします。
今回のオリンピックは初出場だったため「挑戦」をテーマに掲げて挑みました。結果は男子5000mリレーで8位入賞でした。メダルを目標に4年間トレーニングを行ってきたので満足のいく結果とはなりませんでした。4年後に向けて

は収穫のあった大会だったと思います。今回悔しかった経験を忘れず、これからもトレーニングに励んでいこうと思います。



SAJ 令和4 承認第00346号

渡部 暁斗 (わたべ あきと) 北野建設(株)スキークラブ

◆スキー・ノルディック複合

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。各競技における県勢の活躍も関係各位のご尽力の賜物と思います。

私自身も北京オリンピックにて2つの銅メダルを獲得することができました。掲げた目標には届きませんでした。競技の面白さは十分に日本の皆様にご覧頂けたと思っております。

長野県の皆様より頂く特別大きなご声援には、日頃より大変感謝しております。今後の長野県のスポーツ文化の益々の発展をご祈念申し上げます。



SAJ 令和4 承認第00347号

渡部 善斗 (わたべ よしと) 北野建設(株)スキークラブ

◆スキー・ノルディック複合

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。スポーツ振興の歴史の深い長野県を拠点に競技活動ができていることを、誇りに思います。

先日行われた北京オリンピックでは、団体戦で銅メダルを獲得することができました。日々背中を押し、支え続けてくださった皆様に心から感謝しております。今後も競技者としてさらに向上していけるよう、立ち止まることなく精進してまいります。



SAJ 令和4 承認第00348号

岩淵 香里 (いわぶち かおり) 北野建設(株)スキークラブ

◆スキー・ジャンプ

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。私が競技中心の人生を送ることができているのは、スポーツ協会様あっての事だと思っております。夢に向かって突き進む事ができる環境に感謝しております。

北京オリンピックでは改めて応援の力を感じる事ができました。オリンピックという大舞台で表彰台に上ることは叶いませんでしたが、残りのW杯でも最後までチャレンジしたいと思います。



SAJ 令和4 承認第00349号

山本 涼太 (やまもと りょうた) 長野日野自動車(株)スキークラブ

◆スキー・ノルディック複合

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。

北京オリンピック成績：団体 銅メダル

個人 LH：12位、NH：14位

北京オリンピック団体戦で銅メダル獲得の一員として戦うことで、多くの支えがあって私は自分の目標を追いかけられている事を実感しました。

私の目標はオリンピック金メダル獲得です。

今後も目標に向かって競技人生を楽しみたいと思います。



SAJ 令和4 承認第00350号

馬場 直人 (ばば なおと) 中野土建(株)スキークラブ

◆クロスカントリースキー

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。
伝統ある長野県スポーツ協会の記念誌に載せていただきありがとうございます。
北京オリンピックでは目標とする入賞には到底及びませんでした。初めてのオリンピックはとても楽しく、そして夢のような時間でした。
この北京オリンピックでの経験を活かし、更に競技力向上を目指し、次のオリンピックの舞台では最高の笑顔で終われるように4年間頑張りたいと思います。
これからも応援よろしくお祈りします！



SAJ 令和4 承認第00351号

小林 千佳 (こばやし ちか) 長野日野自動車(株)スキークラブ

◆クロスカントリースキー

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。
歴史ある長野県の一員としてスキー競技ができていて誇りに思います。北京オリンピックでは長野の方々のたくさんの温かい応援が励みになりました。結果としては、まだまだ世界に通用しているとは言えませんが、大きな舞台に挑戦できたからこそ得たものがたくさんありました。
これからも世界での活躍を目指し、日々努力していきます。



SAJ 令和4 承認第00352号

杉本 幸祐 (すぎもと こうすけ) (株)デイリーはやしや

◆フリースタイルスキー モーグル

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。
この度北京オリンピックへ向け、多大なる応援と心強いサポート本当にありがとうございました。
お陰様で本番も最後まで諦めず攻め切ることができました。
北京オリンピックで一区切りする予定で進めてきましたが、次の2026年のイタリア・ミラノまでもう一度挑戦したいという気持ちになりました。
これからの4年でモーグルもとても変化していき、4年後自分がどの位置にいるかわかりませんが感謝の気持ちを忘れず精一杯やれることを頑張っていきたいと思っています。引き続きどうぞ応援よろしくお祈りします。
この度は、ありがとうございました。



SAJ 令和4 承認第00353号

原 大智 (はら だいち) 日本スキー場開発(株)スキークラブ

◆フリースタイルスキー・モーグル

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。

長野県スポーツ協会様からの激励金大変嬉しく思います。ありがとうございます。

北京オリンピックでは7位入賞と2大会連続メダル獲得にはなりませんでしたが、自分らしく滑り楽しくやれたと思っています。そして、プロ競輪選手として異種競技のモーグルでオリンピックに出場できたことは光栄であり誇りに思っております。

モーグルは、北京オリンピックにて引退をします。

次は競輪選手として更なる高みにいけるよう頑張ります。



SAJ 令和4 承認第00354号

近藤 心音 (こんどう ここね) オリエンタルバイオ(株)

◆フリースタイルスキー・スロープスタイル・ビッグエア

長野県スポーツ協会創立75周年おめでとうございます。

今回初出場だった北京オリンピックは、トレーニング中の転倒による足の怪我で欠場という結果で終わってしまいました。

ここまでサポートと応援をして下さった皆様に私の滑りを見せられず、感謝や感動を届けられなかったこと、悔しくて申し訳ない気持ちでいっぱいです。

ですが、この経験はこれから自分が更に強くなり、大きな目標を達成する為の新たなきっかけだと思いました。諦めず4年後のオリンピックでリベンジ出来るよう頑張っていきたいと思います！応援ありがとうございました。



SAJ 令和4 承認第00355号

今井 胡桃 (いまい くるみ) プリオホールディングス(株)

◆スノーボード ハーフパイプ

創立75周年おめでとうございます。長年あらゆるスポーツ事業にご尽力されてこられました事感謝申し上げます。

北京オリンピック出場で感じた事はコーチやトレーナーさん、資金面では両親、スポンサーさん沢山の方々の支えがなければ1人では成り立たないと感じました。それと同時に沢山の人々に感動と勇気を与えるものだと感じました。

今後のオリンピックを目指すかは決まっておりませんが、多くの方にスポーツの魅力が伝わりこれからの子供たちが頑張っていけるようスポーツの普及に取り組んで参りたいと思います。

長野県スポーツ協会様が80年、100年と続きます事、益々のご発展をご祈念申し上げます。



小林 誠也（こばやし せいや） 信州スポーツ医療福祉専門学校2年

◆リュージュ 男子一人乗り

創立75周年おめでとうございます。県内でますますスポーツが行われ、多くの方に親しんでほしいと願っております。

初出場の北京オリンピックでは、32位で競技を終えました。

スタート前にすごく緊張して、大きな失敗をしてしまいました。悔いの残るレースになりましたが、次のオリンピックに向けて、とても良い経験になりました。

私は、今シーズンからシニアデビューし、ワールドカップを転戦していましたが、世界の壁を痛感しました。まずは、今年のオフシーズンでスタートタイムを上げ、体重も増やし、今シーズン出場することができなかったワールドカップの本戦に出場したいと考えています。また、リュージュは、まだまだ競技人口が少なく、多くの人に知られていない競技なので、自分が競技を続けることでより多くの方に知ってもらい、リュージュを始める方が増えてくれることを願っています。